

南海トラフ巨大地震を想定した市内一斉避難訓練を実施

令和7年11月30日(日)に、南海トラフ巨大地震による津波浸水被害を想定とした避難訓練を実施しました。訓練には、市民(各自治会・自主防災会)2,977人のほか、各福祉施設などが参加し、地域で定められた一時集合場所への避難や施設での垂直避難を行いました。今後も、市民や各福祉施設などが行政と一体となって、訓練を実施することにより、防災意識の高揚と地域防災力の向上に努めてまいります。



▲避難の様子



▲防災講話の様子



江田島警察署通信 第114号

江田島警察署 ☎ 0823-42-0110



～実録、警察官を名乗る詐欺！郵便局での水際阻止！～

江田島市において昨年発生した特殊詐欺の半分以上が、警察官を名乗るなりすまし詐欺でした。今回は、実際に江田島市で発生した特殊詐欺を郵便局が見破った事例を紹介します。

ある日、一人暮らしをしている70代の女性(Aさん)の自宅固定電話に警視庁の警察官を名乗る人物から電話があり、「あなたにマネーロンダリングの疑いがかかっている。携帯電話の番号を教えるように。」と携帯電話に誘導され、携帯電話のアプリでビデオ電話がかかってきました。

その人物に「逮捕されたくなれば、お金を払わなければならない。いくら払えるか。」と言われ、怖くなつたAさんは「ゆうちょに300万円あります」と答えてしまい、さらにその人物は、守秘義務誓約書なる書類を

見せてきて、他の人には絶対に言わないように念押しました。

Aさんは、警察官を名乗る人物とビデオ電話をつなげたまま、郵便局に行き、300万円を振り込もうとしましたが、郵便局長さんは、そのおかしな動きに気が付き、「送り先はどこですか」と聞くもAさんは「知ってる人です」と言うばかりで、さらにカバンの中に通話状態の携帯電話を見つけ、他の郵便局員さんと連携し、これは詐欺に違いないと江田島警察署に通報しました。

詐欺を見破った郵便局の迅速的確な判断で、Aさんはお金を騙しとられずにすみました。警察も金融機関も特殊詐欺の被害防止のために様々な取り組みを実施しています。皆さんも不審な電話がかかってきたら、すぐに相談してください。

祝
1周年

えたじまーれ がつなぐ、島の魅力

問えたじまーれ(市観光協会) ☎ 0823-69-7599

令和7年2月、大柿町飛渡瀬に誕生した特産品販売所「えたじまーれ」。

市内外から多くの方にお越しいただき、このたび1周年を迎えました。

えたじまーれは、長年地域に親しまれてきたJAひろしま江田島アグリセンターの一部を活用し誕生しました。農産物、海産物、加工品、お酒、お土産品など、市の魅力がぎゅっと詰まったお店として、市6次産業化・地産地消推進協議会の支援のもと、市観光協会が運営しています。

JAや商工会などの団体、生産者・事業者・漁業者の皆さまの力を借りながら、季節ごとのおいしいものを取り揃えたり、新商品を掘り起こしたりと、ひとつひとつ取り組んできました。

夏にはビール祭り、秋には収穫祭としてランタンを空に掲げるなど、訪れた方と一緒に楽しむイベントも開催することができました。

おかげさまで、約700種類の商品が並び、1年間で約2万5,000人の方に訪れていただきました。(令和7年12月末時点)

これからも、日常の中でちょっと立ち寄りたいとき、江田島市を訪れたときなど、ここが島の魅力を再発見する入り口となるよう、えたじまーれは、地域のみなさまとともに進化し続けます。



▲えたじまーれ公式LINE



▲えたじまーれInstagram

